

#### 4. 教務関係

##### (1) 入学者、在籍者の状況

##### ① 公益学部

##### イ 男女別在籍者数（令和元年5月1日現在）

(人)

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	192	173	124	123	612
女	71	79	86	76	312
計	263	252	210	199	924

※休学者の数は在籍者の内数

##### ロ 出身地別在籍者数（令和元年5月1日現在）

(人)

出身地		1年次	2年次	3年次	4年次	計
山形県内	村山	43	49	45	30	167
	最上	21	25	13	7	66
	置賜	44	42	30	21	137
	庄内	53	50	41	56	200
	小計	161	166	129	114	570
山形県外	北海道				2	2
	青森県	6	6	10	6	28
	岩手県	19	16	20	22	77
	秋田県	25	21	20	29	95
	宮城県	10	6	10	10	36
	福島県	25	18	13	7	63
	茨城県	1			1	2
	埼玉県	1	2			3
	千葉県		1			1
	東京都	3		2	2	7
	神奈川県	1	4	2	1	8
	新潟県	2	3	2		7
	石川県	2	1	1	1	5
	長野県	1	2	1	2	6
	大阪府		1		1	2
	大分県	1	3			4
	福岡県	2			1	3
	宮崎県	2	2			4
	滋賀県	1				1
小計	102	86	81	85	354	
		263	252	210	199	924

ハ 退学・除籍・休学の状況（平成30年度）（令和元年5月1日現在） (人)

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累 計
退学者	4		6		4		7		21		384
除籍者	0		0		0		1		1		33
休学者	春学期 0	秋学期 1	春学期 1	秋学期 1	春学期 0	秋学期 0	春学期 0	秋学期 3	春学期 1	秋学期 5	—

② 公益学研究科 [収容定員 修士課程 60名、博士後期課程 12名]

イ 男女別在籍者数（令和元年5月1日現在） (人)

性別	修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
男	6	5	0	0	2	13
女	4	5	2	0	0	11
計	10	10	2	0	2	24

ロ 出身地別在籍者数（令和元年5月1日現在） (人)

出身地		修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
山形県内	村山	2	0	0	0	1	3
	最上	0	0	0	0	0	0
	置賜	0	0	0	0	0	0
	庄内	6	8	0	0	0	12
	小計	8	8	0	0	1	15
山形県外	東京	0	0	0	0	1	1
	小計	0	0	0	0	1	1
国外	スリランカ	0	0	2	0	0	2
	パキスタン	1	1	0	0	0	2
	ラオス	1	1	0	0	0	2
	小計	2	2	2	0	0	6
合計		10	10	2	0	2	24

ハ 退学・休学の状況（平成30年度） (人)

学 年	修士課程	博士後期課程	合計
退学者	1	0	1
除籍者	0	0	0
休学者（春学期）	1	0	1
休学者（秋学期）	2	0	2

(2) 公益学部履修科目

ロカリキュラム(2018年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考		
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター					
基礎教育科目 (69)	スタンダード導入科目 【5】		●基礎演習a ●基礎演習b ●現代公益論Ⅰ,Ⅱ ●山形地域論								必修	8			
		I群	哲学 倫理学 文学概論 心理学 日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 人文地理学a 文化人類学 英国庭園文化論 世界地誌												
	教養科目 【36】	II群	経済学 法学 政治学 社会学 社会福祉学a 社会福祉学b ジェンダー論 環境社会学 教育学 生涯学習概論 特別支援教育												
		III群	数学a,b 実用数学a,b 物理学 天文学a,b 統計学a,b 医学一般 健康科学 自然地理学a 自然地理学b												
	リテラシー科目 【28】	外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/EAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ / 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ/EAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ / 中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ		○英語Ⅶ/EAPⅦ / 中国語Ⅶ・Ⅷ		○英語Ⅷ/EAPⅧ				選択必修	8以上	・同一言語8単位必修
		情報科目	●情報リテラシーⅠ		●情報リテラシーⅡ		●基礎プログラミングⅠ		●基礎プログラミングⅡ				必修	8	
専門教育科目 (182)	地域経営系 (75)	系共通科目	○基礎簿記Ⅰ ○基礎簿記Ⅱ ○経営学Ⅰ ○地域福祉論a ○雇用政策論 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学												
		経営コース	応用統計学 経済史 経営学Ⅱ 経営工学 研究開発論 マーケティング論 福祉経営論 環境マネジメント論a,b 会計学 管理会計 経済学特論a 経済学特論b 金融論 産業組織論 経済学史 リサイクルビジネス論a,b 経営戦略論 人的資源管理論 企業法務 企業財務分析 非営利組織会計 企業組織の心理学 ゲーム理論												
		政策コース	公共経営論 行政学 地方自治論 行政法 地方自治法 政策入門 政策過程 公共系科自演習a,b 社会政策a,b 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的年金論 福祉行政と福祉計画Ⅰ,Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法Ⅰ,Ⅱ 地方財政論 国際法 国際関係の法と経済												
		地域福祉コース	障害者福祉論 公的扶助論 医療福祉論 権利擁護と成年後見 ソーシャルワーク総論a ソーシャルワーク総論b 地域福祉論b 相談援助の理論と方法a 相談援助の理論と方法b 相談援助の理論と方法c 相談援助の理論と方法d 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 司法福祉論 地域福祉演習Ⅰ 地域福祉演習Ⅲ 地域福祉演習Ⅳ 精神保健学												
	交流文化系 (101)	系共通科目	○日本文化論 ○観光・まちづくり概論Ⅰ,Ⅱ ○世界経済事情 ○情報発信・ファシリテーションの技法 ○サパルチャー論a,b ○社会調査論Ⅰ,Ⅱ ○情報メディアと社会a,b,c,d ○情報交換概論a,b												
		国際教養コース	国際関係論 国際協力論 国際ビジネス論 アジア経済論 中国経済論 中国文化論Ⅰ,Ⅱ 比較文化論Ⅰ,Ⅱ 多文化共生論 アメリカ事情 西洋文学史 International Economics 【語学科目】 ■ Advanced English Communication ■ English PresentationⅠ ■ English PresentationⅡ ■ Intensive ReadingⅠ ■ Intensive ReadingⅡ ■ Academic Writing ■ TOEIC(中級) ■ TOEIC(上級) ■ Intensive TOEIC ▲中国語会話 ▲中国語リスニング ▲中国語中級講義Ⅰ ▲中国語中級講義Ⅱ ▲中国語検定対策Ⅰ ▲中国語検定対策Ⅱ ▲ビジネス中国語 ▲中国語上級講義 ▲中国語作文												
		観光まちづくりコース	観光産業論a,b 観光政策論Ⅰ,Ⅱ 地域観光資源論 国際観光論a,b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ,Ⅱ グリーンツーリズム論 第六次産業論 自然環境の保全と共生 風景のデザインa,b 中心市街地の再生 中山間・離島地域論 NPO・NGO論Ⅰ,Ⅱ 社会起業家論Ⅰ,Ⅱ 観光・まちづくり演習a 観光・まちづくり演習b 人文地理学b 日本地誌												
		メディア情報コース	ゲームデザインⅠ,Ⅱ 社会情報処理a,b 数値情報処理Ⅰ,Ⅱ 情報デザイン論Ⅰ,Ⅱ 情報処理演習a,b,c,d 応用プログラミングⅠ,Ⅱ データベース論 インターネット演習a,b 情報処理特論a,b,c,d,e,f,g,h 地理情報基礎演習 Unix演習a,b DB演習Ⅰ,Ⅱ												
	専門演習(6)	一般					●専門演習Ⅰ		●専門演習Ⅱ				必修	8	
		留学						○専門演習(留学)Ⅰa	○専門演習(留学)Ⅰb	○専門演習(留学)Ⅰc	●専門演習(留学)Ⅱ		必修 選択必修	2 (2単位は4)	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じた定める
発展教育科目 (33)	特別プログラム (22)	特別プログラム基礎科目	○エネルギーと社会a,b												
		社会福祉士養成課程	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 相談援助実習指導Ⅳ 相談援助実習指導Ⅴ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ												
		エネルギー特別プログラム	電力技術の基礎(実験) 熱技術の基礎(実験) エネルギーマネジメント論 再生可能エネルギー論a 再生可能エネルギー論b エネルギー経済論 エネルギー政策論												
	外国語発展科目 【11】	特別プログラム応用科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)												
		ロシア語/日本語	ロシア語1 ロシア語2 ロシア語3 ロシア語4 日本語演習a 日本語演習b 日本語演習c 日本事情												
		留学外国語	短期語学留学1 短期語学留学2 実践 外国語(期間・大学名)												
人材育成 【18】	キャリア科目 【9】	基本科目	●キャリア入門a,b		●キャリアと人生a,b		就職セミナー						必修 選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上 設置科目数 計306科目 修得単位数 計124単位以上
		発展科目	文章表現法				トップセミナーa,b		時事問題特講						
	応用演習科目 【9】	○インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4 ○O型応用演習1 O型応用演習2 ○競争型課題解決演習1 競争型課題解決演習2 ○課題解決実践演習													
リメディアル科目 【4】		●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2													

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

(3) 公益学研究科履修科目

① 修士課程

科目区分	研究領域 および 個別科目名			
基礎科目	公益学総論			
方法論科目	論文作成法 統計学 社会調査論 共創の技法 情報処理論 基幹統計調査論 文化交渉論 英語集中プログラムⅠ 英語集中プログラムⅡ 英語集中プログラムⅢ 英語集中プログラムⅣ 国際ビジネスコミュニケーション論			
専門科目	<公共経営研究領域>	<国際ビジネス研究領域>	<地域共創・ソーシャルワーク研究領域>	<情報科学研究領域>
	公共経営研究 1 (理論経済学) 公共経営研究 2 (行政法) 公共経営研究 3 (行政学) 公共経営研究 4 (財政学) 公共経営研究 5 (公会計論) 公共経営研究 6 (NPM 論) 公共経営研究 7 (公共政策論) 公共経営研究 8 (自治体政策法務論) 公共経営研究 9 (社会保障論) 公共経営研究 10 (海外行政研究)	国際ビジネス研究 1 (組織行動論) 国際ビジネス研究 2 (経済分析) 国際ビジネス研究 3 (国際経済論) 国際ビジネス研究 4 (アジア金融論) 国際ビジネス研究 5 (産業組織論) 国際ビジネス研究 6 (アジア人材マネジメント論) 国際ビジネス研究 7 (技術管理論) 国際ビジネス研究 8 (コーポレートファイナンス論) 国際ビジネス研究 9 (アジア地域経済論) 国際ビジネス研究 10 (経営戦略論) 国際ビジネス研究 11 (アジアビジネス論) 国際ビジネス研究 12 (東南アジアの歴史と文化)	地域共創研究 1 (公共性の社会学) 地域共創研究 2 (社会政策論) 地域共創研究 3 (多文化共生・人権論) 地域共創研究 4 (ソーシャルキャピタル論) 地域共創研究 5 (地域デザイン論) 地域共創研究 6 (NPO・非営利組織論) 地域共創研究 7 (ソーシャルビジネス論) 地域共創研究 8 (合意形成・コーディネーション論) 地域共創研究 9 (スクール(学校)ソーシャルワーク論 a) 地域共創研究 10 (スクール(学校)ソーシャルワーク論 b)	情報科学研究 1 (計算理論) 情報科学研究 2 (情報システム) 情報科学研究 3 (情報数理) 情報科学研究 4 (人間工学) 情報科学研究 5 (MOT 概論—技術経営戦略/イノベーション/知財) 情報科学研究 6 (プロジェクトマネージメント) 情報科学研究 7 (応用統計) 情報科学研究 8 (高信頼情報システム) 情報科学研究 9 (ディペンダブルソフトウェア開発) 情報科学研究 10 (公益ソフトウェア論)
発展科目	現代政策分析	ビジネスリスクマネジメント論 海外インターンシップ	スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習	
		特別セミナー a	特別セミナー b	特別セミナー c
プロジェクト科目	プロジェクト a (都市・農村調査演習—金峯山における修験と食) プロジェクト b (庄内地方における内発的地域づくり) プロジェクト c (建築都市デザイン手法による地域課題へのアプローチ) プロジェクト d (①地域固有ポイントマッピングシステムの開発/ ②地域固有ポイント管理フローの開発)			
自由科目	教育学 教育行政 生徒指導論 進路指導論 教育心理学 教育カウンセリング 精神保健学 児童福祉論			
演習科目	演習Ⅰ 演習Ⅱ			

② 博士後期課程

科目区分	個別科目名
公益学研究特殊講義	公益学研究特殊講義 a 公益学研究特殊講義 b (地域活性化) 公益学研究特殊講義 c (森林の歴史と共生) 公益学研究特殊講義 d (都市空間における歴史文化的文脈の読解) 公益学研究特殊講義 e (自治体マネジメント) 公益学研究特殊講義 f
研究指導科目	研究指導Ⅰ 研究指導Ⅱ 研究指導Ⅲ

(4) インターンシップの実施状況

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	山形県庁	1
2		山形県最上総合支庁	1
3		山形県村山総合支庁	2
4		山形県置賜総合支庁	1
5		山形県庄内総合支庁	3
6		米沢市役所	1
7		南陽市役所	1
8		長井市役所	3
9		天童市役所	1
10		東根市役所	1
11		村山市役所	1
12		新庄市役所	3
13		酒田市役所	8
14		鶴岡市役所	3
15		最上町役場	1
16		真室川町役場	1
17		舟形町役場	1
18		会津若松市役所	1
19		宮城県角田市役所	1
20		一関市役所	1
21		花巻市役所	3
22		横手市役所	1
23		大仙市役所	1
24		由利本荘市役所	3
25		むつ市役所	1
26		北海道北斗市役所	1
27		東北地方整備局酒田港湾事務所	2
28		酒田地区広域行政組合消防本部	3

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
29	団体	公益財団法人 出羽庄内国際交流財団	2
30		公益財団法人 山形県国際交流協会	3
31		公益財団法人 福島県国際交流協会	1
32		公益財団法人 秋田県国際交流協会	2
33		奥州宇宙遊学館	1
34		庄内観光コンベンション協会	1
35		秋田観光コンベンション協会	1
36		情報通信	株式会社ニゴロデザイン
37	株式会社コミュニティー新聞社		2
38	株式会社オリーブ		1
39	卸・小売	ヤマリョー株式会社	1
40		株式会社ダイユエイト	2
41		ゼビオコーポレート株式会社	1
42		株式会社マスポート	1
43		株式会社上杉コーポレーション	1
44		株式会社ヒグチ	1
45		ネットヨタ山形株式会社	1
46		トヨタカローラ山形株式会社	2
47	不動産・建設	オガール企画合同会社	2
48		株式会社鈴木測量事務所	1
49		加藤総業株式会社	1
50		株式会社ブルー	2
51		株式会社東洋開発	4
52	製造	酒田米菓株式会社	3
53		株式会社ウエノ	1
54		世嬉の一酒造株式会社	1
55	社会福祉法人	社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会	1
56		社会福祉法人 紫波町社会福祉協議会	1
57		社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会	1
58		社会福祉法人 村山市社会福祉協議会	1
59		社会福祉法人 東根市社会福祉協議会	2
60		社会福祉法人 さくら福祉会	1
61		医療法人社団 さつき会 老人保健施設明日葉	2
62		社会福祉法人 光風会 特別養護老人ホーム芙蓉荘	1
63		医療法人社団 博英会 ニコニコグループホーム	1
64		社会福祉法人 佛子園	1
65		社会福祉法人 敬友会 おいたまの郷	1
66		学校法人 天真林昌学園 天真幼稚園	2
67	金融	SMBC 日興証券株式会社 山形支店	3
68	サービス	株式会社タマツ	1
69	その他	株式会社秋田キャッスルホテル	2







ニ 平成 30 年度 A2 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日			
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室		
1 時限									バンティング	D-2	1 時限	
2 時限	佐藤 隆也 澤邊 みさ子 武田 真理子	G-1 A-4 E-2			温井 亨	G-3			萩原 茂樹	A-5	2 時限	
昼休み											昼休み	
3 時限	西村 まどか フェック エドモンド 呉 衛峰	B-4 G-4 F-2	白旗 希実子 齋藤 建児 斉藤 徹史 スルトノフ 松尾 慎太郎 渡辺 伸子	F-5 E-3 I-3 B-1 C-4 G-5	三浦 彰人 小野 敦 玉井 雅隆	C-5 地域共創センター H-2		伊藤 真知子 呉 尚浩 遠山 茂樹 樋口 恵佳	F-3 A-2 E-5 I-2	松田 憲	I-4	3 時限
4 時限	山本 裕樹 小関 久恵 阿部 公一 小野 英一	I-5 H-3 H-5 B-2	古山 隆 鎌田 剛 渋谷 周二 三木 潤一 竹原 幸太	E-1 E-4 D-1 E-6 H-4				神田 直弥 倉持 一 唐 栄 松山 薫	学部長室 D-3 C-2 C-3			4 時限
5 時限	広瀬 雄二 渡辺 暁雄	B-3 H-1	日比 真一	A-1						平尾 清	I-1	5 時限

② 公益学研究科

イ 春学期

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
伊藤 真知子	共創の技法 演習Ⅱ 研究指導Ⅱ	火曜 17:50～18:00	鶴岡 研究科長室
高谷 時彦	地域共創研究 5 (地域デザイン論) 演習Ⅱ	月曜日 18:00～19:30	鶴岡 研究室 TC1
遠山 茂樹	論文作成法	6月16日(土) 16:10～16:20	鶴岡 セミナー室 11
温井 亨	プロジェクト a (都市・農村調査演習 —金峯山における修験と農)	授業開講日の 授業開始前 10 分間	鶴岡 セミナー室 11
澤邊 みさ子	論文作成法 プロジェクト b (庄内地方における内発的知地域づくり)	①論文作成法担当回 12:50～13:00 ②プロジェクト b 開講日 21:10～21:20	①鶴岡 セミナー室 11 ②鶴岡 大学院ホール
阿部 公一	公共経営研究 7 (公共政策論)	金曜日 19:30～19:40	鶴岡 講師室
呉 尚浩	プロジェクト b (庄内地方における内発的地域づくり)	木曜日 21:10～21:20	鶴岡 大学院ホール
松田 憲	論文作成法	5月26日(土) 16:10～16:20	鶴岡 セミナー室 11
ジハン シャザダ ナイヤール	国際ビジネス研究 6 (アジア人材マネジメント論) 国際ビジネス研究 7 (コーポレートファイナンス論) 演習Ⅰ・Ⅱ	金曜日 17:50～18:00 21:10～21:20	鶴岡 研究室 TA
武田 真理子	共創の技法 地域共創研究 2 (社会政策論) 演習Ⅱ	火曜日 19:30～19:45	鶴岡 セミナー室 23
スルトノフ ミルゾサイド	国際ビジネス研究 5 (産業組織論) 国際ビジネス研究 10 (国際経済論)	金曜日 19:30～19:40	鶴岡 セミナー室 22
三木 潤一	公共経営研究 1 (理論経済学)	木曜日 21:10～21:20	鶴岡 セミナー室 23
広瀬 雄二	情報処理論	月曜日 17:00～18:45	酒田 共同研究室 B
萩原 茂樹	情報科学研究 1 (計算理論) 情報科学研究 2 (情報システム)	木曜日 学部 2 時限 10:40～12:25	酒田 研究室 A-5
斉藤 徹史	公共経営研究 8 (自治体政策法務論)	授業開講日の昼休み 12:10～13:00	鶴岡 セミナー室 21
西村 まどか	情報科学研究 3 (情報数理)	火曜日 学部 6 時限 18:55～20:40	酒田 共同研究室 B
渋谷 周二	日本語演習	授業開講時限の 開始前 10 分間、終了後 10 分間	セミナー室 21
小野 英一	公共経営研究 6 (NPM論) 公益学研究特殊講義 e (自治体マネジメント) 演習Ⅱ	月曜日 学部 3 時限 13:30～14:55	酒田 研究室 B-2

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
白旗 希実子	論文作成法	6月23日(土) 16:10~16:20	鶴岡 講師室
山本 裕樹	統計学	木曜日 19:30~19:40	鶴岡 セミナー室21
バンディング ティモシー	英語集中プログラム I~IV	各日授業 最終コマ終了後の10分	鶴岡 セミナー室23
酒井 計史	社会調査論	8月22日(水)~24日(金) 17:50~18:00 / 21:10~21:20 8月25日(土) 8:50~9:00 / 16:10~16:20 8月26日(日) 8:50~9:00 / 14:30~14:40	鶴岡 セミナー室21
加留部 貴行	共創の技法	4月14日(土) 12:50~13:00 8月4日(土) 12:50~13:00	大学院ホール
和田 明子	公共経営研究10 (海外行政研究)	8月7日(火)・8月8日(水) 17:50~18:00 / 21:10~21:20 8月9日(木) 17:50~18:00 / 19:30~19:40	鶴岡 セミナー室23
岡本 三彦	公共経営研究10 (海外行政研究)	8月10日(金) 17:50~18:00 / 21:10~21:20 8月11日(土) 8:50~9:00 / 14:30~14:40	鶴岡 セミナー室23
馬場 健	公共経営研究10 (海外行政研究)	8月11日(土) 16:10~16:20 / 17:50~18:00 8月12日(日) 8:50~9:00 / 14:30~14:40	鶴岡 セミナー室23
菊池 正	国際ビジネス研究11 (アジアビジネス論)	授業開講日 8:50~9:00、14:30~14:40	鶴岡 中教室
滝口 克典	地域共創研究3 (多文化共生・人権論)	火曜日 19:30~19:40、21:10~21:20	鶴岡 セミナー室23
青木 孝弘	地域共創研究3 (NPO・非営利組織論)	月曜日 17:50~18:00、19:30~19:40	鶴岡 セミナー室23
山本 直美	情報科学研究5 (MOT概論 - 技術経営戦略/イノベーション/知財)	質問等がありましたら、授業内に受け付けます。	酒田 208教室
和川 央	現代政策分析	授業開講日 17:50~18:00、21:10~21:20	鶴岡 セミナー室21

□ 秋学期

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
伊藤 眞知子	公益学総論 公共性の社会学 演習Ⅱ	火曜 17:50～18:00	鶴岡 セミナー室 21
高谷 時彦	プロジェクトc 演習Ⅰ・Ⅱ	月曜 17:50～18:00	鶴岡 研究室 TC1
呉 衛峰	文化交渉論	木曜 17:45～18:00	鶴岡 セミナー室 21
澤邊 みさ子	演習Ⅰ	月曜 16:30～16:40	酒田 共同研究室 A
ジハン シャザダ ナイヤール	演習Ⅰ・Ⅱ	金曜 17:50～18:00 21:10～21:20	鶴岡 研究室 TA2
武田 真理子	公益学総論 地域共創研究 8 (合意形成・コデイネーション論) 演習Ⅱ	①公益学総論開講日の 17:50～18:00、21:10～21:20 ②合意形成・コデイネーション 論開講日の 授業開始前 10 分間 授業終了後 10 分間	①は 鶴岡 中教室 ②は 鶴岡 大学院ホール
神田 直弥	情報科学研究 4 (人間工学) 演習Ⅰ	木曜 15:05～16:50	酒田 学部長室
スルトノフ ミルゾサイド	国際ビジネス研究 9 (アジア地域経済論)	金曜 19:30～19:40	鶴岡 セミナー室 22
広瀬 雄二	情報科学研究 10 (公益ソフトウェア論)	月曜 16:20～19:30 水曜 18:00～19:30	酒田 共同研究室 B
萩原 茂樹	情報科学研究 2 (情報システム)	木曜 10:40～12:25	酒田 研究室 A-5
渋谷 周二	日本語演習	金曜 14:30～14:40 17:50～18:00	鶴岡 セミナー室 23
倉持 一	演習Ⅰ・Ⅱ	金曜 17:00～18:00	鶴岡 研究室 TA2
小野 英一	公益学総論 演習Ⅱ	月曜 13:30～14:55	酒田 研究室 B-2
山本 裕樹	情報科学研究 7 (応用統計)	木曜 19:30～19:40	鶴岡 セミナー室 12
酒井 章	国際ビジネス コミュニケーション論	授業日最終コマ後の 10 分	鶴岡 中教室
薄葉 祐子	国際ビジネス研究 1 (組織行動論)	授業日最終コマ後の 10 分	鶴岡 セミナー室 22
ハキーム モハメッド モシン	国際ビジネス研究 12 (東南アジアの歴史と文化)	授業日 最終コマ後の 10 分	鶴岡 セミナー室 21
加留部 貴行	地域共創研究 8 (合意形成・コデイネーション論)	授業開講日の 12:30～13:00	鶴岡 中教室
小地沢 将之	地域共創研究 4 (ソーシャルキャピタル論)	木曜 19:30～19:40、21:10～21:20	鶴岡 セミナー室 21
青木 孝弘	地域共創研究 7 (ソーシャルビジネス論)	授業開講日の 12:50～13:00、17:50～18:00	鶴岡 セミナー室 23
牧野 晶哲	地域共創研究 9 (スクール(学校)ソーシャルワーク論 a)	授業開講日の 10:30～10:40、16:10～16:20	鶴岡 大学院ホール
山本 直美	情報科学研究 6 (プロジェクトマネジメント)	質問等がありましたら、授業内 に受け付けます。	酒田 208 教室

## (6) 研究実績報告

氏名	神田 直弥
職位・系・コース	教授・交流文化系・メディア情報コース

## 1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	教育課程と教育方法が学修成果におよぼす影響	東北公益文科大学総合研究論集	35号（別冊）	2019	神田直弥
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	高齢ドライバーの免許返納意向と生活不安に関する調査	日本人間工学会第59回大会		2018	神田直弥・菅原脩平
2	高齢ドライバーの運転免許返納と公共交通利用意向について	日本交通心理学会2018年度（第83回）鶴岡大会		2018	菅原脩平・神田直弥

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
・日本交通心理学会 会員
・日本人間工学会 会員
・日本心理学会 会員
・日本プラントヒューマンファクター学会 会員
・Human Factors and Ergonomics Society Full Member

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本交通科学学会 会員</li> <li>・航空運航システム研究会 会員</li> </ul>
<p>②各種学会における活動状況</p> <p>日本交通心理学会編集委員（平成 26 年～）</p> <p>日本交通心理学会運営委員（平成 29 年～）</p> <p>日本人間工学会編集委員（平成 30 年～）</p>
<p>③学会賞等の受賞状況</p>

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：非採択	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	1 件	庄内空港ビル株式会社	831,600 円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	<p>(地域課題解決のための研究・活動状況)</p> <p>高齢ドライバーの免許返納と公共交通利用促進に関する研究（鳥海自動車学園との共同研究）</p> <p>中学生の自転車利用時における事故防止に係る交通安全教育手法の開発（国際交通安全学会プロジェクト研究）</p>

氏名	伊藤 眞知子
職位・系・コース	研究科長、教授・交流文化系・観光・まちづくりコース

## 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	平成 29 年度大学まちづくり地域政策形成事業調査研究委託 酒田市における女性活躍推進のための基礎調査研究報告書	東北公益文科大学		平成 30 年 3 月	伊藤眞知子
⑤総説・解説等					
1	書評：古賀正義・石川良子編『ひきこもりと家族の社会学』世界思想社	山形新聞		H30 年 4 月 18 日	伊藤眞知子
2	まちがっていませんか？あなたの男女共同参画	庄内町広報		H30 年 7 月 20 日号	伊藤眞知子
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須） 日本社会学会、日本家族社会学会、日本社会教育学会、日本公益学会
② 各種学会における活動状況

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	1 件	舟形町住民主体の地域づくり事業コーディネート業務	2,008,800 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)



氏名	遠山 茂樹
職位・系・コース	

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「聞き書き」による新たな「物語」へ—歴史、記憶、世代をつなぐ「場」の創出—	東北公益文科大学総合研究論集	第 34 号	2018（平成30）年 7 月	共著（渡辺暁雄、小関久恵、遠山茂樹）
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 史学会、日本西洋史学会、駿台史学会、西洋中世学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	温井 亨
職位・系・コース	交流文化系観光・まちづくりコース

## 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	「名勝における眺望と風景計画」『実践風景計画』	朝倉書店	106-107	2019年3月	温井亨
2	URBAN DESIGN STUDIO Ⅲ 酒田港を人間のための空間としてデザインする	東北公益文科大学	82 ページ	2018年9月	温井亨（編・著）
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「都市計画と公益、公共の福祉」『私の公益ノートⅢ』	東北公益文科大学	52-55		温井亨
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	里の風景計画に思う	日本造園学会全国大会ミニフォーラム「風景計画の視座」		2019年5月27日	温井亨

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、和食文化学会

<p>②各種学会における活動状況</p> <p>ランドスケープ遺産インベントリー委員、風景計画研究委員会委員、ランドスケープ研究校閲委員：2018年度査読2論文（以上、造園学会）</p> <p>理事（和食文化学会）</p>
<p>③学会賞等の受賞状況</p>

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内・地域デザイン研究所 研究所員

氏名	澤邊 みさ子
職位・系・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース

## 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	ニュージーランドにおける障害者の社会参加とスポーツ (*平成29年度の業績調書に書き忘れ)	日本ニュージーランド学会第24回研究大会		2017(平成29)年6月17日	澤邊みさ子
2	日本におけるニュージーランド研究: 過去・現在・未来 - 社会福祉の立場から -	日本ニュージーランド学会第25回研究大会		2018(平成30)年6月16日	澤邊みさ子
3	ニュージーランドにおける障害者の暮らしと福祉	Get to know New Zealand 第9回		2018(平成30)年12月13日	澤邊みさ子

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 社会政策学会、日本職業リハビリテーション学会、日本ニュージーランド学会 日本公益学会、日本社会福祉学会、北ヨーロッパ学会
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会 事務局長(2018年6月～)

日本公益学会 理事（2012年4月～）
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	種別：	
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	<p>(地域課題解決のための研究・活動状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究及び調査活動（プロジェクト型応用演習（春学期））</li> <li>・酒田市宮浦学区における認知症に関する専門機関の活動調査。酒田市立宮野浦小学校5年生を対象とした認知症サポーター養成講座の実施（地域福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）</li> <li>・小学生を対象とした「公益を考える事業」の企画・実践（応用型プロジェクト演習（KKP））</li> </ul> <p>（以上、すべて東北公益文科大学教員との共同研究・活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労や地域貢献など意欲のある男性が、退職後も社会に参加できる環境を整えるための居場所づくり（コワーキング酒田男塾のアドバイザーとして活動）</li> <li>・酒田・飽海地区のひきこもり者の支援のため、関係機関の情報を共有し、解決策を導き出すための関係機関ネットワーク会議に参加</li> </ul> <p>（以上、地域の組織・団体と協力して活動）</p>

氏名	阿部 公一
職位・系・コース	教授・地域経営系・政策

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	年金学習単元開発に向けた「ねらい」の在り方に関する考察—若者に対する年金教育の観点を踏まえて—	一般社団法人年金総合研究所、「年金等の情報発信委員会」研究報告書（仮題）	執筆箇所 16頁を予定	本年度末を予定	執筆者多数のため省略。執筆箇所に関しては論考として単著。
2	高校新設「公共」科目への年金学習単元開発に向けた「ねらい」の在り方に関する研究報告	公益財団法人日本教育公務員引済会に対する研究報告	A4版 19頁	2019年3月	単著。
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					
⑧教材作成等					
1	高校生のための年金ディベート道場	「平成30年度日教弘本部奨励金」による成果物。近々、経済教育ネットワークのホ	A4版 16頁	2019年2月	単著。

		ホームページにアップロード予定。			
--	--	------------------	--	--	--

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本年金学会、日本公民教育学会、経済教育ネットワーク、他。
②各種学会における活動状況 平成30年度日教引本部奨励金による成果物が、「経済教育ネットワーク」のホームページに掲載されることが予定されている(第107回東京部会より)。
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	① 有 ・ 無	種別：	円
受託研究関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額
	1	平成30年度日教引本部奨励金	75万円 円

## 4. その他

特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市国民健康保険運営協議会委員として、酒田市の国民健康保険のあり方や国保行政の課題について、取り組んでいる。



氏名	吳 衛峰
職位・系・コース	教授・文化交流系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
0					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	『華文俳句選』	台北：秀威出版	153 頁	2018 年 12 月	吳衛峰（俳句のほか、中国語俳句についての論文と論述が二篇ある）、洪郁芳、郭至卿、趙紹球、永田満徳
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	俳句対中国現代詩 歌的影響	中国日本文学研究会杭州年会論文集、青島出版社	52-68 頁	2018 年 8 月	吳衛峰（魏大海・李征・譚晶華編集、執筆順位 3 4 名中第 5 位）
査読無し学術論文等					
1	中国語圏における 俳句の影響	2018 和漢比較文学検討会論文集（台湾大学）	87-94 頁	2018 年 10 月	吳衛峰
④紀要等					
1	中国語俳句の可能性——華文二行俳句の実践を中心に	東北公益文科大学総合研究論集第 3 5 号	(1)-(12) 頁	2018 年 12 月	吳衛峰
⑤総説・解説等					
0					
⑥国際会議発表論文等					
2	⑦と同じ				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	俳句対中国現代詩 歌的影響（招待講演）	第 1 6 回（中国）日本文学年会および国際学術検討会		2018 年 8 月 13 日、於内 蒙古大学	吳衛峰
1	中国語圏における	和漢比較文学学会		2018 年 8 月	吳衛峰

	俳句の影響（口頭発表）	第11回海外特別例会		30日、於台湾大学	
--	-------------	------------	--	-----------	--

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）国際比較文学会、日本比較文学会、東大比較文学会、和漢比較文学会、日本中国学会、東方学会、中国日本文学研究会
②各種学会における活動状況 コメンテーター（2018年11月17日、日本比較文学会東京支部例会、呉川発表「和歌漢訳」にみる文化翻訳の諸問題について）
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：C	円
受託研究関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

## 4. その他

特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	呉 尚浩
職位・系・コース	教授 交流文化系 観光・まちづくりコース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
<b>①博士論文</b>					
1					
<b>②著書(翻訳含む)及び辞書等</b>					
1	(「花がおこし結ぶ三島の島づくり～とびしま未来協議会の挑戦と粟島・佐渡との三島交流」)	(長嶋俊介編『日本ネシア論』藤原書店、2019年度中刊行予定)		(原稿提出済み、2019年度中刊行予定)	呉尚浩
<b>③学協会誌等</b>					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	「『庄内海岸松原再生計画 2018年改訂版』の策定にあたって―多様な主体による海岸林管理の共創ビジョンづくりの試み―」	『グリーン・エージ』（一般財団法人日本緑化センター） ※CiNii (NII学術情報ナビゲータ)に書誌情報掲載済み。	No. 540号、 pp. 28-30.	2018年12月	菊池俊一・呉尚浩
<b>④紀要等</b>					
1					
<b>⑤総説・解説等</b>					
1 記事	飛島の「海ごみ問題」と「地域づくり」事例から公益社会の実現を考える	『私の公益ノートⅢ』（東北公益文科大学）	第22号、 pp. 20-23.	2019年3月 刊行予定	呉尚浩
2	“第11回三島交流会 in 佐渡”参加報告	『とびしま未来協議会通信』	第22号、 p. 1	2018年11月	呉尚浩（執筆 者名なし）
3	プロジェクト型応	『やまがた創生	第12号、	2019年2月	呉尚浩（執筆

	用演習（地域コミュニティにおける「防災」の仕組みづくり-酒田市飛島）	だより』（COC +機関誌）	p. 4		者名なし）
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「庄内海岸林保全における共創の森ビジョンづくり—『出羽庄内公益の森づくりを考える会』と『庄内海岸松原再生計画』を中心とした共同管理体制の構築—」	平成 30 年度日本海岸林学会石垣大会・シンポジウムにて報告（招待）		2018 年 11 月 18 日	呉尚浩
2	「庄内海岸林保全における共創の森ビジョンづくり—『出羽庄内公益の森づくりを考える会』と『庄内海岸松原再生計画』を中心とした共同管理体制の構築—」	『平成 30 年度日本海岸林学会石垣大会講演要旨集』	pp. 80-84.	2018 年 11 月	呉尚浩
3	「策定から 10 年が経過した庄内海岸松原再生計画の改訂について」	平成 30 年度日本海岸林学会石垣大会・ポスター発表		2018 年 11 月 18 日	菊池俊一・呉尚浩
4	「策定から 10 年が経過した庄内海岸松原再生計画の改訂について」	『平成 30 年度日本海岸林学会石垣大会講演要旨集』	pp. 54-55.	2018 年 11 月	菊池俊一・呉尚浩

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内・社会基盤技術フォーラム（土木学会認定CPDプログラム）
②各種学会における活動状況 ・日本海岸林学会・シンポジウム報告（招待）・パネリスト（平成 30 年度日本海岸林学会石垣大会、2018 年 11 月）

- ・地区防災計画学会大会参加（第5回大会、大阪市立大学・杉本キャンパス、2018年3月開催、参加予定）
- ・庄内社会基盤技術フォーラム・運営委員（第24回フォーラムにて開会挨拶、参加、2019年1月、東北公益文科大学）

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	松田 憲
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース

## 1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に記 載した順に本人も含 め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	(研究論文) International Teaching Assistants: A Case of an American University	東北公益文科大 学総合研究論集	第35号 (別冊)	平成31年3 月発行予定	Ken Matsuta
2	(研究ノート) アメリカ研究とクリテ ィカル・シンキング	東北公益文科大 学	私の公益 ノートⅢ	平成31年3 月発行予定	松田 憲
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本比較文化学会</li> <li>・大学英語教育学会</li> <li>・全国語学教育学会</li> <li>・外国語教育メディア学会</li> <li>・Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association</li> </ul>
<p>②各種学会における活動状況</p> <p>所属学会の研究発表大会にできるだけ参加して最新の知見に触れた。</p>

③学会賞等の受賞状況

特になし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別 :	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	酒田市(グローバル・セミナー：国際教養コース主催)	125,000円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の申 請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし

氏名	古山 隆
職位・系・コース	教授・地域経営系・経営コース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	なし				
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	なし				
査読無し学術論文等					
1	なし				
④紀要等					
1	なし				
⑤総説・解説等					
1	なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	なし				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	なし				

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 環境資源工学会、資源素材学会、自動車技術会リサイクル技術部門委員会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況 なし

### 3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別：	円
	件数	契約先名	契約金額
			円
			円
	件数	契約先名	契約金額
			円
			円
	件数	契約先名	契約金額



機関等 共同 研究	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

氏名	武田 真理子
職位・系・コース	地域経営系 地域福祉コース 教授

## 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「地域福祉の政策化」と地域福祉の推進方法に関する一考察—酒田市地域支え合い活動推進事業の分析を中心に—	東北公益文科大学総合研究論集	第35号 pp. 63-78	2018年12月20日	武田真理子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	ニュージーランド J. アーダーン首相の産休と近年の児童福祉、子育て支援政策の動向	日本ニュージーランド学会	第81回研究会	2018年11月17日	武田真理子

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本ニュージーランド学会、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会は副会長として学会運営を担当、その他は会員としての活動
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	○有 ・ 無	種別：	
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	2件	鶴岡市「地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業」	1,000,000円
		舟形町住民主体の地域づくり事業コーディネート業務	2,008,800円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1件	東京オリンピック・パラリンピック酒田市ホストタウン推進協議会会長（酒田市長）「ニュージーランド連続講座業務委託」	108,000円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 東北公益文科大学ニュージーランド研究所所長・日本ニュージーランド学会副会長として、出産議員ネットワーク研修会・超党派ママパパ議員連盟共催研修会（参議院会館）における招待講演「ニュージーランド J. アーダーン首相の産休と子育て支援政策～歴史的・社会的背景を中心に～」を行った。また、酒田市オリンピック・パラリンピック・ホストタウン推進協議会への参画、研究会の開催、酒田市市民向けの「Get to Know New Zealand」連続講座の第5回から第10回の企画・開催及び講師など、酒田市のニュージーランドとの交流及び国際化の推進に貢献をした。平成31年度もニュージーランド研究所の研究員及び関係者とともに継続的、発展的にニュージーランド研究の地域への還元と人材育成に取り組む。

氏名	Sultonov Mirzosaid
職位・系・コース	教授、交流文科系、国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	Remittances, bilateral trade and linkage between foreign exchange markets: Evidence from the Commonwealth of Independent States (CIS)	International Journal of Economic Policy Studies, Springer	vol. 13, pp. 1-10	2019	Sultonov M.
2	Dynamic linkages between Japan' s foreign exchange and stock markets: Response to the Brexit referendum and the 2016 US presidential election	Journal of Risk and Financial Management	vol. 11(3), 34	2018	Sultonov M. S. N. Jehan
3	The impact of falling crude oil price on financial markets of advanced East	Journal of Reviews on Global Economics	vol. 7, pp. 10-20	2018	Sultonov M.

	Asian countries				
査読無し学術論文等					
1	Oil price effects on exchange rate and price level: The case of South Korea	Tohoku Koeki Bunka Daigaku, Sougo Kenkyu Ronshu	vol. 34, pp. 1-7	2018	Sultonov M.
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Causality relationship between remittances and real effective exchange rate: The case of the Kyrgyz Republic	The 16th International Conference of the Japan Economic Policy Association,	JEPA 2018	Tokyo, October, 2018	Sultonov M.
2	The Causality from Crude Oil Price to Exchange Rate and Consumer Price Index: The Case of South Korea	16th International Conference on Economics and Social Sciences	ICESS	Tokyo, March, 2019	Sultonov M.
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	“Examining Domestic Value-Added in China’s Exports: A Structural Decomposition Analysis Approach” by H. Zhu	The 16th International Conference of the Japan Economic Policy Association,	JEPA 2018	Tokyo, October, 2018	Sultonov M. (Discussant)

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 比較経済体制学会(会員); Japan Economic Policy Association (会員); World Economic Association International (会員); International Conference of Japan Economic Policy Association (member of organizing committee); International Journal of Economic Policy Studies (member of editorial board); Journal of Social Indicators Research (referee); Journal Applied Economics (referee); Journal of Reviews on Global Economics (referee); Journal of Sustainability (referee); Journal of International Risk Management (referee).
②各種学会における活動状況 Organization committee member, presenter, discussant and referee works.
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	竹原 幸太
職位・系・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース

### 1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	1922年少年法・矯正院法下の少年矯正実務における少年保護観－1930年代初頭までの少年院を対象として	社会事業史学会『社会事業史研究』	55号、ページ数未定	2019年3月発行予定	
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	熊野隆治の社会教育活動と松風会所蔵「観風文庫」	東北公益文科大学総合研究論集	34号、pp. 9-22	2018年7月	
⑤総説・解説等					
1	書評『失敗してもいいんだよー子ども文化と少年司法』（リプライ）	日本犯罪社会学会『犯罪社会学研究』	43号、pp. 162-164	2018年10月	
2	青少年問題をめぐる応報主義に修復的司法・実践は抗し得るか？－アメリカの修復的司法・実践の動向を手がかりとして	共生と修復研究会『共生と修復』	5号、pp. 38-40	2018年10月	
3	学校における修復	日本教育法学会	48号、ペー	2019年3月	

	的司法・実践と子どもの権利擁護 (自由報告概要)	『日本教育法学会年報』	シ数未定	発行予定	
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	学校における修復的司法・実践と子どもの権利擁護	第 48 回日本教育法学会定期総会 (於東北学院大学)		2018 年 6 月 2 日	
2	コンフリクトマネジメントとしての修復的司法・実践の意義と課題－チーム学校論と関わって (招待)	子どもの権利条約総合研究所定例研究会 (於早稲田大学)		2018 年 9 月 1 日	
3	戦中期の児童・少年保護思想の類型分析に関する研究－少年教護院・少年院を中心として (歴史 2 部会司会者兼務)	日本社会福祉学会第 66 回秋季大会 (於金城学院大学)		2018 年 9 月 9 日	
4	民間団体講演 子ども・学級の相互発達を促す揉め事の解決方法とは？－学校における修復的司法・実践に学ぶ：処分ではなく人間関係の修復を目指す問題行動への対応 (招待)	青森県高等学校生活指導研究協議会 97 回研究集会 (於酸ヶ湯キャンプ場会議室)		2018 年 8 月 4 日	
5	地域で見守り支える子育て－児童虐待	子どもを守る地域ネットワーク		2018 年 10 月 29 日	



	待防止対策について（招待）	機能強化事業（於庄内町余目第二公民館）		
6	学校における修復的司法・実践に学ぶ一処分ではなく人間関係の修復を目指す問題行動への対応（招待）	第18回高校生活指導研究協議会全国フォーラム（於東京セントラルユースホテル会議室）		2018年12月1日
7	子どもたちの今ー子どもの権利と子ども支援（招待）	チャイルドライン庄内公開講座（於鶴岡市勤労者会館）		2019年1月27日
8	子ども虐待とは何か？ーそれぞれの立場でできること（招待）	第20回三川教育フォーラム（於三川町公民館多目的ホール）		2019年2月15日

## 2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等（必須）</p> <p>日本教育学会、日本社会教育学会、日本教育法学会、日本社会福祉学会、日本司法福祉学会、社会事業史学会、日本犯罪社会学会、日本子ども虐待防止学会</p> <hr/> <p>②各種学会における活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本社会福祉学会より学会誌「社会福祉学」臨時査読委員を委嘱（2018年7月、現在まで3本を査読）、9月の学会報告で分科会の司会を担当</li> <li>・日本司法福祉学会より学会誌「司法福祉学研究」査読委員を委嘱（2019年1月、現在まで1本を査読）</li> <li>・日本犯罪社会学会編集委員として1本を査読（2018年6月）、『犯罪社会学研究』43号にて、拙著『失敗してもいいんだよー子ども文化と少年司法』の書評掲載</li> <li>・日本社会教育学会『社会教育学研究』54巻（2018年9月）にて、拙著『失敗してもいいんだよー子ども文化と少年司法』の書評掲載</li> <li>・日本教育学会『教育学研究』85巻4号（2018年12月）にて、拙著『教育と修復的正義ー学校における修復的实践へ』の書評掲載</li> <li>・日本教育法学会にて学会報告（2018年6月）、報告要旨は学会誌『日本教育法学会年報』48号（2019年3月発行予定）にて発行予定</li> </ul> <hr/> <p>③学会賞等の受賞状況</p>
---

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	○有 ・ 無	種別：基盤C 戦前少年院実践における少年 保護思想に関する研究	50万 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	JEHAN, Shahzadah Nayyar
職位・系・コース	教授、アジアビジネス人材養成講座

## 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
<b>①博士論文</b>					
1					
<b>②著書（翻訳含む）及び辞書等</b>					
1					
<b>③学協会誌等</b>					
査読有り学術論文等					
1	Internet Banking Adoption in Saudi Arabia: An Empirical Study	International Journal of Marketing Studies	Vol. 10, No. 3	August 2018	Shahzadah Nayyar Jehan & Zaid Ahmad Ansari
2	Dynamic Linkages between Japan's Foreign Exchange and Stock Markets: Response to the Brexit Referendum and the 2016 U.S. Presidential Election	Journal of Risk and Financial Management	Vol 11 (34)	June 2018	Mirzosaid Sultonov * and Shahzadah Nayyar Jehan
査読無し学術論文等					
1					
<b>④紀要等</b>					
1					
<b>⑤総説・解説等</b>					
1					
<b>⑥国際会議発表論文等</b>					
1.	Sailing through Competition via Blue Oceans	International Conference on Management, Finance, and Entrepreneurship	14 <sup>th</sup>	16 <sup>th</sup> March, 2109	Shahzadah Nayyar Jehan
2.	Innovative Venture Incubation & Risk Mitigation Via Diminishing Musharkah	13 <sup>th</sup> International Conference on New Challenges in Management and Business (Dubai)	13 <sup>th</sup>	16 <sup>th</sup> March, 2109	Shahzadah Nayyar Jehan
3.	Creating Blue Oceans Unceasingly (Keynote Paper)	CBIBM Conference, Lahore, 2018	3rd	December 2018	Shahzadah Nayyar Jehan
4.	Internet Banking Adoption in Saudi Arabia: An Empirical Study	International Journal of Marketing Studies	Vol. 10, No. 3	August 2018	Shahzadah Nayyar Jehan & Zaid Ahmad Ansari
5.	Dynamic Linkages between Japan's Foreign Exchange and Stock Markets: Response to the Brexit Referendum and the 2016 U.S. Presidential Election	Journal of Risk and Financial Management	Vol 11 (34)	June 2018	Mirzosaid Sultonov * and Shahzadah Nayyar Jehan
<b>⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）</b>					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

① 属学会等(必須) IEEE、IEER、AAA、日本経営システム学会、実践経営学会等
② 種学会における活動状況 Referee, Advisor, Member Etc.
③ 会賞等の受賞状況 Best Paper Award, Hanoi Conference. 2017

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	種別 : Kiso C	0 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	2	Qassim University	220000 円
		State University of Ferghana	Funded Exchange Visit for 2

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	三木 潤一
職位・系・コース	准教授 地域経営系 経営コース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1	博士学位取得済み				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	「市場均衡と経済厚生」米本清・宇都宮仁 編著『経済学入門』	みらい	第4章 55-69頁、 170頁、 175-176 頁	2018年10 月	三木潤一
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
査読無し学術論文等					
1	“Hold-up Problems in Contracting Out Waste Collection Services”	School of Economics, Kwansei Gakuin University	Discussion paper No. 186, 18 pages total	January 2019	Hiroaki Ino, Norimichi Matsueda, and Jun'ichi Miki
④紀要等					
1	「平成30年度酒 田市観光に関する 調査研究」	調査研究業務受 託（酒田市）報告 書	※2019年 2月時点で未定	2019年3月 （予定）	三木潤一・ 小嶋健太・ 川崎雄二郎
⑤総説・解説等					
1	記載すべき事項な し				
⑥国際会議発表論文等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	“Hold-up Problems in Contracting-Out Waste Collection Services: A Theory and an Evidence”	「公益学＋経済 学」4大学合同ワ ークショップ（東 北公益文科大学）	第3回	2018年9月	猪野弘明・ 松枝法道・ 三木潤一
2	「庄内南部地域脳 卒中連携パスを活	「公益学＋経済 学」4大学合同ワ	第3回	2018年9月	三木潤一・ 齋藤建児

	用した医療介護費用抑制効果に関する研究」	ークショップ(東北公益文科大学)			
3	「地方都市における高齢者が社会的居場所への通所を充足する可能性の検討」	「公益学＋経済学」4 大学合同ワークショップ(東北公益文科大学)	第3回	2018年9月	齋藤建児・三木潤一・川崎雄二郎・白木里恵子・狩野徹

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会
②各種学会における活動状況	東北公益文科大学・関西学院大学・関西大学・京都学園大学の教員による2018年度(第3回)「公益学＋経済学」4大学合同ワークショップを主催(2018年9月15・16日)
③学会賞等の受賞状況	記載すべき事項なし

## 3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：平成31年度(2019年度)基盤研究(C)(一般)に申請中	円
受託研究関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	酒田市	400,000円
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円

## 4. その他

特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容) 記載すべき事項なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 調査研究業務受託(酒田市)「平成30年度酒田市観光に関する調査研究」に研究代表者として取り組み、平成31年度も継続の予定である。

氏名	渡辺 暁雄
職位・系・コース	准教授・交流文化系・観光・まちづくりコース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「聞き書き」による新たな「物語」へー歴史、記憶、世代をつなぐ「場」の創出ー	東北公益文科大学総合研究論集	第 34 号	2018	渡辺暁雄, 小関久恵, 遠山茂樹
2	写真における行為の非対照性と素材の希少化	東北公益文科大学総合研究論集	第 35 号	2018	渡辺暁雄
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）	日本社会学会, 社会文化学会, 日本生活学会, 日本公益学会
②各種学会における活動状況	大会参加
③学会賞等の受賞状況	

### 3. 研究資金獲得状況

申請の有無	採択状況	採択金額
有 ・ <input type="checkbox"/> 無 申請はしていない	種別：	円

	が研究協力者として玉本英夫教授申請の科研費に登録		
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴岡市加茂地区の地域振興に関する活動</li> <li>・ 酒田市法人保育園・認定こども園協議会「食育実践研究」指導</li> <li>・ 研究ブランディング事業シンポジウム・コーディネート（2回）</li> </ul>



氏名	広瀬 雄二
職位・系・コース	准教授・メディア情報コース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同 発表の場合は論文 等に記載した順に 本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	Life with BSD	WIDE プロジェクト	WIDE 秋合宿研究会 2018.09 招待講演	2018年9月 6日(H30)	広瀬雄二
1	地域住民の思いを残す「おらほの町の『思い』伝承マップ」の提案	情報処理学会研究報告	情報システムと社会環境研究会第146回研究発表会(6)	2019年12月(H30)	佐藤直人、大谷宏行、本間可楠、広瀬雄二
1	情報提供マップの作成者の意図に応じた動的レイヤ生成システムの開発	情報処理学会研究報告	情報システムと社会環境研究会第146回研究発表会(7)	2019年12月(H30)	本間可楠、大谷宏行、佐藤直人、広瀬雄二

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 情報処理学会
②各種学会における活動状況 一般会員
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：	円
受託 研究	件数	契約先名	契約金額
	1件	酒田市情報管理課	600,000 円

関係			円	
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額	
	件		円	
				円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額	
	件		円	
				円
				円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額	
			円	
			円	

#### 4. その他

特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	日比 眞一
職位・系・コース	准教授 地域経営系 地域福祉コース

### 1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本社会福祉学会    日本福祉教育・ボランティア学習学会    日本福祉図書文献学会 山形県社会福祉士会    日本福祉学習支援学会
②各種学会における活動状況 山形県社会福祉士会において、認定社会福祉士取得を目指して、研修を受講中。
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	存 ・ <input checked="" type="radio"/>	種別：	円
受託 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円

関係			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0		円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 山形県社会福祉協議会の苦情解決第三者委員に就任している。苦情の円満な解決に貢献したい。

氏名	松山 薫
職位・系・コース	准教授 交流文化系 観光まちづくりコース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	The symbolic role of Nichirin-heisha (sun barrack for agricultural training) in the campaign for Japanese emigration to Manchuria, 1938-1945	17th International Conference of Historical Geographers, Warsaw	17th International Conference of Historical Geographers, Abstract, 266.	2018	MATSUYAMA Kaoru
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 経済地理学会, 東京地学協会, 東北地理学会, お茶の水地理学会, 軍事史学会, 日本アイルランド協会, 日独協会, 日本地図学会, 日本観光研究学会, 山形県地域史研究協議会

②各種学会における活動状況 2018年人文地理学会特別例会「山形県の文化遺産と地域資源」 会場校責任者 歴史地理学会役員 庶務運営委員
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	種別：
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 本学 COC 事業 平成 29 年度 地域課題基礎研究費 (プロジェクト型)「現 存する日輪兵舎「日輪講堂」の保存に向けた具体的方策に関する研究」 (松山 薫・山口泰史)の研究発表が契機となって、遊佐町教育委員会 において、吹浦の「日輪講堂」の文化財化へ向けた協議が開始された。

氏名	萩原 茂樹
職位・系・コース	准教授・交流文科系・メディア情報コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	A Characterization on Necessary Conditions of Realizability for Reactive System Specifications	Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP 2018)	Proceedings of Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP2018), pp. 54-68, 電子配 布 、 post-proceedings は CRC prss より 出版予定	2018 年 9 月	Takashi Tomita, Masaya Shimakawa, Shigeki Hagihara and Naoki Yonezaki
2	Towards Improvement of Realizability Checking for Reactive System Specifications by Simplification	Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP 2018)	Proceedings of Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP2018), pp. 69-82. 電子配 布 、	2018 年 9 月	Masaya Shimakawa, Shigeki Hagihara and Naoki Yonezaki

	of Infinite Games		post-proceedings は CRC press より 出版予定		
3	Verification of Verifiability of Voting Protocols by Strand Space Analysis	8th International Conference on Software and Computer Applications (ICSCA 2019)	Proceedings of 8th International Conference on Software and Computer Applications (ICSCA 2019) 電子配布、全 6 頁、post-proceedings は ACM より出版予定	2019 年 2 月	Shigeki Hagihara, Masaya Shimakawa and Naoki Yonezaki
4	Towards Efficient Implementation of Realizability Checking for Reactive System Specifications	8th International Conference on Software and Computer Applications (ICSCA 2019)	Proceedings of 8th International Conference on Software and Computer Applications (ICSCA 2019) 電子配布、全 6 頁、post-proceedings は ACM より出版予定	2019 年 2 月	Masaya Shimakawa, Atsushi Ueno, Shohei Mochizuki, Takashi Tomita, Shigeki Hagihara and Naoki Yonezaki
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

<p>① 所属学会等(必須)</p> <p>電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会</p> <hr/> <p>② 各種学会における活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子情報通信学会情報システムソサイエティソフトウェアサイエンス研究会専門委員</li> <li>● 日本ソフトウェア科学会ソフトウェア工学研究会ソフトウェア工学の基礎ワークショッププログラム委員</li> <li>● 国際会議 Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP 2018) プログラム委員</li> <li>● 論文の査読(8件)を行った。(英文雑誌論文1件、日本語雑誌論文2件、国際会</li> </ul>
--



議論文 3 件、国内会議論文 2 件)

③ 学会賞等の受賞状況

該当なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無✓	種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 該当なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 三木准教授と京都学園大学の川崎准教授、酒田市総務部危機管理課と共に、酒田市の消防について人員や資源の最適配置を求める方法に関する研究を行うことを模索している。2月13日に酒田市総務部危機管理課にてキックオフミーティングを行った。

氏名	齊藤 徹史
職位・系・コース	准教授 地域経営系 政策コース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	市の浄化槽整備推進事業に係る公金の支出が違法でないといわれた事例～大阪高裁平成 26 年 8 月 29 日判決～	『地方財務』	774 号 133-142 頁	2018（平成 30）年 12 月	齊藤徹史
査読無し学術論文等					
1	公共施設マネジメントに対する行政裁判例からの一考察	『自治総研』（依頼稿）	482 号 59-81 頁	2018（平成 30）年 12 月	齊藤徹史
2	入札契約制度の理念と改革の動向①	『判例地方自治』（依頼稿）	443 号 75-78 頁	2019（平成 31）年 3 月 （2 月末に発行）	齊藤徹史
3	入札契約制度の理念と改革の動向②	『判例地方自治』（依頼稿）	444 号 79-82 頁	2019（平成 31）年 4 月 （3 月末に発行予定）	齊藤徹史
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	（招待講演）自治体の入札制度と公	連合（本部）労働条件・中小労働対		2018（平成 30）年 5 月	齊藤徹史

	契約条例の実務と理論	策局			
2	(研究報告) 市の浄化槽整備推進事業に係る公金の支出が違法でないとされた事例～大阪高裁平成 26 年 8 月 29 日判決～	日本財政法学会 財政法研究会		2018 (平成 30) 年 9 月	齊藤徹史
3	(研究報告) 公共契約に係る近年の論点について～平成の入札関連裁判例の考察～	東北大学経済法研究会		2019 (平成 31) 年 3 月 (実施予定)	齊藤徹史

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本公法学会 日本財政法学会 日本経済法学会 日本高等教育学会 日本地域学会 自治体学会 東北大学公法判例研究会 東北大学経済法研究会 公正取引委員会事務総局東北事務所東北経済法研究会
②各種学会における活動状況
上記学会・研究会に積極的に参加
③学会賞等の受賞状況
—

## 3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	④ ・ 無	種別：基盤(c) 不採択	0 円
受託研究関係	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円 円
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円 円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円 円
			円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額
	2 件	酒田市 奨学寄附金	45,000 円 100,000 円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	<p>(地域課題解決のための研究・活動状況)</p> <p>公共施設マネジメントに関し、酒田市が主催するワークショップに協力した。その際には公務員志望の学生にも参加させ、自治体実務への理解を深めさせることで学習意欲を向上させた。</p> <p>酒田市と庄内町の職員に対し、政策法務能力の向上を目的とする研修を行った。</p> <p>本学マルチプロジェクト研究機構地域イノベーション研究所長として、庄内の市町と連携を深め、次年度以降に向けた事業協力を進めた。</p>

氏名	西村 まどか
職位・系・コース	准教授 メディア情報

## 1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同 発表の場合は論文 等に記載した順に 本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	A Method To Print Braille in 3D Printing	<a href="#">信学技報</a>	vol. 118, no. 341, WIT2018-45, pp. 73-75.	2018 年 12 月 (H30 年)	
2	On Printing Japanese Braille by 3D Printer	IPSJ Tohoku Branch SIG Technical Report	vol. 2018 no. 21	2018 年 11 月 (H30 年)	

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) IEEE, 日本物理学会、情報処理学会
②各種学会における活動状況 情報処理学会と電気通信情報学会で成果発表を行った。 1. 福祉情報工学研究会(第1種研究会), H: ヒューマンコミュニケーショングループ第

9x 回 開催報告：福祉情報工学研究会， 2018. 12

2. 情報処理学会東北支部研究会(秋田大学)， 2018. 11

③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	鎌田 剛
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	連携の「ハイブリッド戦略」人間と技術の統合が相乗効果を生み出すのはなぜか？	第20回日本医療マネジメント学会学術総会（ロイトン札幌他）		2018年6月9日	鎌田剛

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本医療マネジメント学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

### 3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	種別：挑戦的研究（萌芽），不採択	円
	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) COC事業に引き続き、庄内町立谷沢地区の活性化に向けた活動(調査、他大学との合同ワークショップ)を実施した。



氏名	倉持 一
職位・系・コース	准教授・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	『CSR 白書 2018』	東京財団政策研究所		2018年（平成30年）	有馬年男、牛島慶一、倉持一、関正雄、廣田真一
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「障害者雇用の戦略的取り組みと企業のノード機能」	『Social Design』 社会デザイン学会	Vol. 10 33-44 頁	2019年（平成31年）	倉持一
2	「習近平政権の国家機構改革の海洋ガバナンスへの影響に関する研究」	『危機管理研究』 日本危機管理学会	第 27 号 19-29 頁	2019年（平成31年）	倉持一
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「戦略的 CSR が創り出す公共性に関する考察－ハーバースマス公共性理論と新しい公共との比較を通じて－	『東北公益文科大学総合研究論集』	第 35 号 33-49 頁	2019年（平成31年）	倉持一
⑤総説・解説等					
1	「海洋安全保障情報旬報」	笹川平和財団海洋政策研究所	毎月 3 回 発行	2019年（平成31年）	倉持一
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「企業のノード機能に関する研究－障害者雇用を事例として－」	社会デザイン学会		2018年（平成30年）7月	倉持一

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本危機管理学会、社会デザイン学会
②各種学会における活動状況 日本危機管理学会では、理事として理事会に参画し、運営を担った。社会デザイン学会では研究報告のファシリテーターを務めた。
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	笹川平和財団	実費分 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	○ 1件	東京財団政策研究所	実費分 円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円 円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 競争型課題解決演習を運営する中で構築した人間関係が発展し、酒田青年会議所との意見交換会を実施。

氏名	玉井 雅隆
職位・系・コース	准教授・交流文化系・国際教養コース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1	該当なし				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	文正仁（著）、山本武彦・宮脇昇（編訳）『太陽政策－朝鮮半島の平和への道－』（翻訳）	志学社	121-149 頁	2018（平成30）年6月	山本武彦・宮脇昇・玉井雅隆
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	パチカンと国際政治－CSCEにおけるパチカンの役割と宗教－	日本平和学会	63-86 頁	2018（平成30）年6月	玉井雅隆（単独）
2	「ウィーンの内」と「ウィーンの外」－OSCEにおける分断とその要因－	グローバル・ガバナンス学会		2019（平成31）年3月 （予定）	玉井雅隆（単独）
査読無し学術論文等					
1	該当なし				
④紀要等					
1	「海外インターンシップ制度に関する考察－日本文化とインターンシップ－」	東北公益文科大学総合研究論集		2019（平成31）年3月 （予定）	玉井雅隆（単独）
2	CSCE・OSCE プロセスにおける移民と難民－家族の再結合問題に焦点を当てて－	東北公益文科大学総合研究論集		2019（平成31）年3月 （予定）	玉井雅隆（単独）
⑤総説・解説等					
1	該当なし				

⑥国際会議発表論文等					
1	The OSCE, Finland and Mongolia-Can Mongol Play a Role Like Finland in the North East Asia?	ULAANBAATAR DIALOGUE ON NORTHEAST ASIAN SECURITY		2018 (平成30) 年 6 月	玉井雅隆 (単独)
2	The exchange of information and the role of media in North East Asia-Asian and European Situation-	the 18th East Asian Seminar on the United Nations System		2018 (平成30) 年 11 月	玉井雅隆 (単独)
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1	“Un” protected minorities in the European Continent	11 <sup>th</sup> Annual Meeting of the Japan Association of Global Governance		2018 (平成30) 年 5 月	玉井雅隆 (単独)
2	The OSCE, Finland and Mongolia-Can Mongol Play a Role Like Finland in the North East Asia?	ULAANBAATAR DIALOGUE ON NORTHEAST ASIAN SECURITY		2018 (平成30) 年 6 月	玉井雅隆 (単独)
3	Regional Organization and the UN -How does the co-operate with the UN?-	18 <sup>th</sup> Annual Meeting of the Academic Council of the United Nations Systems		2018 (平成30) 年 7 月	玉井雅隆 (単独)
4	「庄内・山形県から見た北東アジアー平和構築と環日本海地域」	シンポジウム「北東アジアのスイッチ・日本海ー米朝首脳会談後の北東アジアと環日本海」		2018 (平成30) 年 9 月	玉井雅隆 (単独)
5	Multiculturalism	Global Seminar		2018 (平成	玉井雅隆 (単

	and International Politics	2018		30) 年 9 月	独)
6	The exchange of information and the role of media in North East Asia-Asian and European Situation-	the 18th East Asian Seminar on the United Nations System		2018 (平成 30) 年 11 月	玉井雅隆 (単独)
7	Minorities and conflict prevention in Europe	GLOBAL LECTURE		2019 (平成 31) 年 1 月	玉井雅隆 (単独)
8	紛争予防と平和創造－欧州の事例から－	男塾		2019 (平成 31) 年 2 月	玉井雅隆 (単独)

## 2. 学会活動に関する業績

<p>① 所属学会等(必須)</p> <p>国際政治学会、国際法学会、グローバル・ガバナンス学会、ロシア・東欧学会、日本国連学会、日本平和学会、公共政策学会、公益学会、ACUNS、ISA</p> <hr/> <p>② 各種学会における活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル・ガバナンス学会理事</li> <li>・ 公共政策学会『公共政策研究』編集委員会副委員長</li> </ul> <hr/> <p>③ 学会賞等の受賞状況</p> <p>該当なし</p>
---

## 3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
科研費関係	有 ・ 無	種別：基盤（C）経済制裁の問題点と課題－対抗制裁の罫（研究分担者）	110,000 円 (総額 3,200,000 円)
		種別：基盤（C）公共政策決定過程における「談合」「取引」の発生要因の研究（研究分担者）	80,000 円 (総額 3,400,000 円)
		種別：基盤（C）資源通過国の資源紛争当事者化についての研究（研究分担者）	48,980 円 (総額 3,400,000 円)
受託	件数	契約先名	契約金額

研究 関係	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	該当なし		円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 該当なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 該当なし

氏名	小野 英一
職位・系・コース	准教授・地域経営系・政策コース

### 1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	自治体における閉鎖型任用システムと「開放性」(大谷基道・河合晃一編『現代日本の公務員人事－政治・行政改革は人事システムをどう変えたか』第6章)	第一法規	第6章 pp. 115-133	2019年 (平成31年)	小野英一
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	自治体間連携による新たな自治体シンクタンク－最上地域政策研究所を事例として－	『地域活性研究』地域活性学会	vol. 9 pp. 308-316	2018年 (平成30年)	小野英一
④紀要等					
1	東日本大震災後の自治体財政に関する一考察－東北地域の被災沿岸市町村を中心に－	『東北公益文科大学総合研究論集』東北公益文科大学	第35号 pp. 13-31	2018年 (平成30年)	小野英一・出井信夫
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	「民主主義と世代間格差・対立」 「少子高齢化・過疎化における行財政の在り方」	第6回「新しい公務員倫理を考える研究会(大学研究者、人事院職員を中心とした研究会)」		2018年 (平成30年)	小野英一

2	「少子高齢化・過疎化における行財政の在り方」 「首長と行政職員－行政職員のディレンマ状況」	第7回「新しい公務員倫理を考える研究会（大学研究者、人事院職員を中心とした研究会）」	2019年 （平成31年）	小野英一
---	--	--	------------------	------

## 2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <p>自治体学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公益学会、日本公共政策学会 日本地域政策学会、非営利法人研究学会</p> <hr/> <p>②各種学会における活動状況</p> <p>日本公益学会：理事 日本公共政策学会：年報委員会</p> <hr/> <p>③学会賞等の受賞状況</p>
--

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	種別：若手研究	0円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)



氏名	白旗 希実子
職位・系・コース	准教授・地域経営系・政策コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	英国におけるソーシャルワーカー入職1年目のプログラム	産業教育学研究	49(1) pp. 19-26	2019年1月	白旗希実子
査読無し学術論文等					
④紀要等					
(紀要)					
1	学習支援活動における学生の「学び」のプロセスに関する一考察	東北公益文科大学総合研究論集	Forum21(34) pp. 81-88。	2018年7月	白旗希実子
2	昭和初期の児童文集と綴方教育実践―「光丘文庫」所蔵資料から―	同上	未定	2019年3月	白旗希実子
(報告書)					
1	「学校の業務委託と連携・協働に関する意識調査」の結果報告	「教育領域における専門業務のアウトソーシングと教育専門職の変容に関する実証的研究」(科研費補助金(基盤研究(B))中間報告書	ページ未定	2019年3月 (予定)	白旗希実子・石井美和・荒井英治郎
2	2018年度の「東北公益文科大学連携推進事業」と実施体制について	2018年度 東北公益文科大学連携推進事業報告書	同上	同上	白旗希実子
(テキスト)					

1	「教育」とはなにか —「公益」という 視点から考える—	私の公益ノート	未定	2019（平成 31）年	白旗希実子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本教育社会学会 日本高等教育学会 日本産業教育学会 日本社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本保健医療社会学会 東北教育学会 東北社会学会 山形県社会福祉士会 日本栄養改善学会 子ども社会学会
②各種学会における活動状況 東北社会学会 2007～2009年 紀要編集委員
③学会賞等の受賞状況 2007年10月 日本産業教育学会 学会奨励賞 桐原賞 2009年3月 東北大学 総長賞

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別 若手研究B（代表者） 基盤研究B（分担）	
	有		500千円（3年間で2,470千） 700千円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	（申請・取得内容） 特になし
地域課題関係	（地域課題解決のための研究・活動状況） 各種委員会への参加

氏名	Edmund Fec
職位・系・コース	講師・交流文科系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	Paragraph Writing in an Academic Writing Class: A New Teacher's Perspective.	東北公益分科大学総合研究論集	第36号	2019年 3月(予定)	Edmund Fec
2	Pronunciation Instruction in an Advanced English Communication Class.	東北公益分科大学総合研究論集	第36号	2019年 3月(予定)	Edmund Fec
3	The Use of Note cards in English Presentation Classes.	東北公益分科大学総合研究論集	第36号	2019年 3月(予定)	Edmund Fec
4	Tactics for Teaching to the TOEIC Test.	東北公益分科大学総合研究論集	第36号	2019年 3月(予定)	Edmund Fec
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等(必須) 全国語学教育学会(JALT: The Japan Association for Language Teaching)
② 各種学会における活動状況 I attended the 2018 JALT Conference in Shizuoka City (November 24-26, 2018).
③ 学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input checked="" type="radio"/>	種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし。
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし。

氏名	山本 裕樹
職位・系・コース	講師・メディア情報コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	東北公益文科大学 における GPA の 分析 II	東北公益文科大 学総合研究論集	34号, pp. 71-80	2018年 (平成30 年)	山本裕樹
2	日時計天文学： 日時計を利用した 地球軌道の離心率 測定	慶應義塾大学日 吉紀要自然科学	64号, pp. 11-20	2018年 (平成30 年)	東田豊、山本 裕樹、表實
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	いつでも・どこで も・だれでも天体 観測	青少年のための 科学の祭典 2018 全国大会		2018年 (平成30 年)	山本裕樹、表 實、吉田宏、 戸田晃一、友 野抗、鶴岡南 の生徒
2	いつでも・どこで も・だれでも天体 観測	青少年のための 科学の祭典 2018 名古屋大会		2018年 (平成30 年)	山本裕樹、表 實、戸田晃一、 大羽徹、日高 正貴
3	山形県立鶴岡南高 校の観測－視差を 利用した月までの 距離の測定－	第8回インター ネット望遠鏡ネ ットワークシン ポジウム		2018年 (平成30 年)	山本裕樹

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本物理学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：基盤研究（C）	2,470,000 円
		種別：基盤研究（C）	195,000 円（分担）
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	小関 久恵
職位・系・コース	講師・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記 入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	保健医療福祉系大学における教養教育の問題(9)―国際化とDisciplineの越境―	大学教育学会誌第40巻第2号	pp94-98	2019（平成31）年	早川明、町田修三、遠藤良仁、小関久恵、小野滋男、志水幸、寺崎昌男、森元拓、宮本雅央、山下匡将
④紀要等					
1	「聞き書き」による新たな「物語」へ―歴史、記憶、世代をつなぐ「場」の創出―	東北公益文科大学総合研究論集第34号	pp23-53	2018（平成30）年	渡辺暁雄、小関久恵、遠山茂樹
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Social work education to handle the needs of a super-aging society with declining population～Education that develops a sense of citizenship～	Social Work, Education and Social Development (SWSD) 2018	Abstract Book p2106	2018（平成30）年	小関久恵、山下匡将、志水幸
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	ともに生きるための知恵としての教養教育	大学教育学会第40回大会ラウンドテーブル「保健	発表要旨集録 pp32-33	2018（平成30）年6月9日	小関久恵

		医療福祉系大学における教養教育の問題（9）－国際化とDisciplineの越境－			
--	--	--	--	--	--

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会
②各種学会における活動状況 日本社会福祉教育学会理事（事務局長）を務める（平成26年8月～）。
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市日向地区における地域づくりビジョン作成に向けた検討や、それに伴う地域運営組織（日向コミュニティ振興会）の組織改編に関する検討と活動について、専門演習や長期学外学修プログラム、また長期学外学修プログラム履修者を中心に発足した学生活動団体「Praxis」（スーパーバイザーを担当）の活動との連動の中で展開している。



氏名	渡辺 伸子
職位・系・コース	講師・地域経営系・経営コース

### 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	大学生のお金に関連する行動の分類および類型化	東北公益文科大学総合研究論集	34, 55-70.	2018（平成30年）	渡辺伸子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

### 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本心理学会・日本青年心理学会・日本パーソナリティ心理学会・日本応用心理学会
②各種学会における活動状況
今年度は参加できなかった。なお、日本応用心理学会より、学会企画の出版物について、2ページの原稿依頼を受けた。2019年度に発行予定とのことである。
③学会賞等の受賞状況
なし。

### 3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 — 無	種別：	円
	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0		円
			円

#### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

氏名	樋口 恵佳
職位・系・コース	講師 政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	持続可能な開発目 標 14(海洋)達成 に向けた施策に関 する国際動向と主 要国における施策 実施状況の比較分 析—日仏米を例と して—	日本海洋政策学 会誌	第 8 巻、 49-70 頁	2018 年 11 月	藤井麻衣、前 川美湖、樋口 恵佳
査読無し学術論文等					
1	国際法における 「相当の注意 (due diligence)」 概念の形成過程— —18-20 世紀の学 説の検討を中心に ——(1)	法学(東北大学)	82 巻 3 号、57-94 頁。	2018 年 8 月	樋口恵佳
2	国際法における 「相当の注意義務 (due diligence)」 概念の形成過程 ——18-20 世紀の 学説の検討を中心 に——(2)	法学(東北大学)	82 巻 5 号、38-82 頁。	2018 年 12 月	樋口恵佳
3	国際法における 「相当の注意義務 (due diligence)」 概念の形成過程 ——18-20 世紀の	法学(東北大学)	82 巻 6 号、1-43 頁。	2019 年 2 月 (予定)	樋口恵佳

	学説の検討を中心に——(3, 完)				
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	第二部 世界の動き	海洋白書 2019(笹川平和財 団海洋政策研究 所)	頁未定 (25 頁程 度)	2019年3月 (予定)	樋口恵佳
2	ニュージーランド の海洋政策	平成30年度「総 合的海洋政策の 策定と推進に関 する調査研究 各国および国際 社会の海洋政策 の動向」(笹川平 和財団海洋政策 研究所)	頁未定 (10 頁程 度)	2019年3月 (予定)	樋口恵佳
3	英国の海洋政策	平成30年度「総 合的海洋政策の 策定と推進に関 する調査研究 各国および国際 社会の海洋政策 の動向」(笹川平 和財団海洋政策 研究所)	頁未定 (10 頁程 度)	2019年3月 (予定)	樋口恵佳
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	(ポスター) Science and Policy Making within the BBNJ Process: Discussion of the Institutional Arrangements	5th International Marine Conservation Congress		2018年6月 27日	Eka HIGUCHI
2	(口頭発表)「BBNJ における能力構築	特別研究会「国家 管轄権外区域の		2018年11 月19日	樋口恵佳

	「日本へのインプリケーションについて」	海洋生物多様性 (BBNJ) に関する新しい海洋法形成」			
--	---------------------	------------------------------	--	--	--

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
国際法学会、世界法学会、グローバル・ガバナンス学会
②各種学会における活動状況
若手研究者育成委員会 委員 (国際法学会, 2018年9月~)
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	種別：なし(申請中)	円
受託研究関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	笹川平和財団海洋政策研究所	1,587,720円
			円
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

## 4. その他

特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 海ごみ関連の個人研究(2019年4月の国際ワークショップ[於横浜市立大学]において進捗報告を予定)

氏名	松尾 慎太郎
職位・系・コース	講師・地域経営系・経営コース

## 1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	第6章 アメリカにおけるADAの現状 — Guide to Audit Data Analytics の内容を中心にして—	日本監査研究学会課題別研究会	平成30年度中間報告書、57-63頁。	2018年(平成30年)	松尾慎太郎
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	監査判断と法的思考—監査判断における議論図式—	第77回日本会計研究学会自由論題報告		2018年(平成30年)	松尾慎太郎

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本会計研究学会、日本監査研究学会、国際会計研究学会、アメリカ会計学会。
②各種学会における活動状況	日本会計研究学会スタディ・グループメンバー 日本監査研究学会課題別研究会メンバー
③学会賞等の受賞状況	特になし。

### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	⑤ ・ 無	種別：不採択B	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1件	日本私立学校振興・共済事業 団	400,000円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし。
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし。

氏名	バンティング ティモシー
職位・系・コース	国際教養

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	Learning a Second Language Presentation	ILA			Timothy Bunting
2	English and Global Development Seminar I	Grad School			Timothy Bunting
3	English and Global Development Seminar II	Grad School			Timothy Bunting

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須） JALT, Institute of New Zealand Studies
② 各種学会における活動状況
③ 学会賞等の受賞状況



### 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別 :	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円

### 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	唐 栄
職位・系・コース	助教・交流文化系・メディア情報コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
<b>①博士論文</b>					
1	Research of finger bone position and posture estimation method utilizing magnetic motion capture: Development of skeletal finger model for estimating finger motion.				Tang Rong
<b>②著書（翻訳含む）及び辞書等</b>					
1					
<b>③学協会誌等</b>					
査読有り学術論文等					
1	A Method of Skeletal Finger Model Generation Considering Phalange Length and Joint Rotation Axis of Individuals.	International Journal of engineering sciences & research technology	Vol. 7, Issue. 10	2018	Tang, R. Mitobe, K. Saito, M. Yoshimura, N.
2	Method for simplifying magnetic Hand motion capture: position and posture estimation method for finger segments of index with two receivers.	International Journal of engineering sciences & research technology	Vol. 7, Issue. 9	2018	Tang, R. Saito, M. Mitobe, K. Yoshimura, N.
査読無し学術論文等					
1					
<b>④紀要等</b>					
1					
<b>⑤総説・解説等</b>					

1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

## 2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

## 3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無 有 ・ 無	採択状況 種別 :	採択金額 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

## 4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)